

2020 年度 明治大学

【全学部統一】

解答時間 60分

配点 100点

れ

世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済



物理, 化学, 生物 問題

はじめに, これを読みなさい。

1. この問題冊子は149ページある。ただし, ページ番号のない白紙はページ数に含まない。各科目のページ数は以下のとおりである。必要な科目を選択して解答すること。

世界史B	1ページから22ページ
日本史B	23ページから38ページ
地理B	39ページから69ページ
政治・経済	70ページから89ページ
物理	90ページから103ページ
化学	104ページから122ページ
生物	123ページから149ページ

2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか, 受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい, 解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答用紙の「解答科目マーク欄」にマークし, 「解答科目名記入欄」に解答する科目名を記入すること。マークされていない場合, または複数の科目にマークされている場合は, この時限の科目は採点対象外となる。
5. 解答は, すべて解答用紙の所定欄にマークすること。
6. 1つの解答欄に2つ以上マークしないこと。
7. 解答は, 必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
8. 訂正する場合は, 消しゴムできれいに消し, 消しくずを残さないこと。
9. 解答用紙は, 絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
10. 解答用紙はすべて回収するので, 持ち帰らず, 必ず提出すること。
11. 問題冊子は, 必ず持ち帰ること。
12. 試験時間は, 60分である。
13. 問題文の中で, 国名, 地域名, 企業名については略称, 通称も用いている。
14. マーク記入例

良い例	悪い例
	

日 本 史 B

(解答番号 1～34)

〔 I 〕 次の文章を読み、設問に答えよ。

日本の律令国家の形成は、681年に 天皇が日本の最初の法典といわれる近江令の改定を命じ、689年に 天皇がこれを飛鳥浄御原令として施行させたころに始まった。それ以降も律令編纂事業は続けられた。刑部親王を総裁とし、鎌足の子藤原不比等らによって701年、大宝律令が完成し、律令体制が整えられた。その後、元正天皇在位の718年、養老律令が編纂されたが、大宝律令と比べて大きな変更はなかった。この養老律令が施行されたのは、 が政権を担当していた757年である。このように、律令国家は、法制面で整えられた。

また、律令政府は、中央集権国家にふさわしい拠点をめざし、694年、日本で最初の本格的な を備えた藤原京を造営した。これは、天皇の住い等を中心とする区域と官人や民衆の居住する区域で構成され、中国にならった制度である。畝傍山・耳成山・香具山に囲まれた地に造営され、それ以前は、事件や政権交代のたびに都が遷されていた。

問 1 空欄 1 にあてはまる語句として正しいものを、次の A～Eのうちから一つ選べ。(解答番号 1)

- | | | |
|------|------|------|
| A 天智 | B 天武 | C 光仁 |
| D 嵯峨 | E 桓武 | |

問 2 空欄 2 にあてはまる語句として正しいものを、次の A～E のうちから一つ
選べ。(解答番号 2)

- A 淳和 B 文武 C 持統
D 元明 E 聖武

問 3 空欄 3 にあてはまる人名として正しいものを、次の A～E のうちから一つ
選べ。(解答番号 3)

- A 長屋王 B 藤原武智麻呂 C 橘諸兄
D 藤原仲麻呂 E 道鏡

問 4 空欄 4 にあてはまる語句として正しいものを、次の A～E のうちから一つ
選べ。(解答番号 4)

- A 郷村制 B 条里制 C 郡郷制
D 均田制 E 都城制

問 5 律令制度について述べた文章として正しいものを、次の A～D のうちから
一つ選べ。(解答番号 5)

- A 軍事や外交事務などを担当する中務省は、左弁官の統属下におかれた。
B 風俗の取締りや官吏の監察を行う弾正台は、令外の官である。
C 五衛府とは、左右兵衛府・左右近衛府・衛門府からなる。
D 太政大臣は則闕の官とよばれ、常置される職ではなかった。

問 6 律令の修正について述べた文章として正しいものを、次の A～D のうちか
ら一つ選べ。(解答番号 6)

- A 格とは律令の施行細則であり、式とは律令条文の補足や改正法令をさ
す。
B 「弘仁格式」「貞観格式」「天曆格式」を総称して、三代格式とよぶ。
C 三代格を内容に従って分類・集成したものが、「類聚国史」である。
D 「令集解」とは、惟宗直本が編纂した養老令の私撰注釈書である。

問 7 古代国家の地方支配について述べた文章として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号7)

- A 7世紀の中頃に日本海側に淳足柵・磐舟柵が設けられた。
- B 太平洋側には蝦夷対策のため多賀城が置かれ、その地が陸奥国府とされた。
- C 南九州の隼人とよばれた人々の地域には、8世紀の初めに豊後国、ついで肥後国が置かれた。
- D 各地に官道が整備され、約16kmごとに駅家が設けられる駅制が整備された。

問 8 古代の貨幣について述べた文章として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号8)

- A 708年、陸奥国から銅が献上されると、政府は年号を和銅と改め、銭貨を鑄造した。
- B 和同開珎には、銅銭と銀銭の二種類があった。
- C 平城京の左京・右京には官営の市が設けられ、市司がこれを監督した。
- D 畿内以外では、稲や布などによる現物取引が広く行われていた。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問に答えよ。

江戸中期を迎えると、諸外国からの通商要求がたびたびなされるようになり、鎖国政策をとっていた幕府は外交についてさまざまな課題を抱えていくことになる。

将軍徳川 1 の補佐として老中首座をつとめた松平定信もこうした問題に対応した人物の一人であった。定信は、いわゆる寛政の改革の中で、農村の復興や財政の立て直し、あるいは思想・出版の統制といった内政への対応を行うとともに、海外勢力との外交問題にも対峙した。定信の老中としての在任期間は、2 が遠因となって解任されるまでのわずか6年間であったが、その間、領土拡大を目指すロシアとの外交問題に追われた。

定信が解任された後も、日本に対して列強によるさまざまな接近が試みられた。択捉島や樺太が攻撃を受けるなどロシアとの関係は一時険悪なものになるが、ゴローニン事件を機に改善されていった。ロシア以外にも、イギリスやアメリカの船が日本近海に頻繁に出現し、1808年のフェートン号事件や1837年のモリソン号事件など、外交上の問題が頻発するようになった。幕府は、外国船への対応に関するこれまでの方針を交換して1825年に 3 を出したり、全国各地の大名に海岸線の防衛をさせたりするなど、外国船への警戒感を高めていった。しかし、アヘン戦争以降、列強による開国要求はさらにその頻度を増すようになり、1854年、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーが軍艦7隻を率いて2度目に来航した際、幕府はついにそうした要求の圧力に負けて日米和親条約を締結する。これをきっかけに、幕府はイギリスやオランダ、ロシアとも同様の和親条約を結ぶことになり、鎖国政策からの完全な転換がはかられた。この転換期になされた政策は、安政の改革と呼ばれており、武家諸法度によって禁止されていた大船建造が許可されたり、国防を充実させるという点から江川太郎左衛門の指揮のもとで品川台場が築造されたり、あるいは江戸湾の警備も強化されるなどした。

問 1 空欄 1～3 にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次の A～H のうちから一つ選べ。(解答番号 9)

- | | | | |
|---|--------|----------|------------|
| A | 1 - 家斉 | 2 - 棄捐令 | 3 - 薪水給与令 |
| B | 1 - 家斉 | 2 - 棄捐令 | 3 - 異国船打払令 |
| C | 1 - 家斉 | 2 - 尊号一件 | 3 - 薪水給与令 |
| D | 1 - 家斉 | 2 - 尊号一件 | 3 - 異国船打払令 |
| E | 1 - 家慶 | 2 - 棄捐令 | 3 - 薪水給与令 |
| F | 1 - 家慶 | 2 - 棄捐令 | 3 - 異国船打払令 |
| G | 1 - 家慶 | 2 - 尊号一件 | 3 - 薪水給与令 |
| H | 1 - 家慶 | 2 - 尊号一件 | 3 - 異国船打払令 |

問 2 下線部(ア)において、寛政の改革の際に幕政を批判したとして処罰された著者と出版物の組み合わせとして正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 10)

- | | | | |
|---|-------------|---|-----------|
| A | 高野長英『戊戌夢物語』 | B | 林子平『海国兵談』 |
| C | 石田梅岩『都鄙問答』 | D | 渡辺崋山『慎機論』 |

問 3 下線部(イ)に関連して、松平定信の老中在任期間中に起こった出来事として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 11)

- A ロシア使節レザノフが長崎に来航し、通商を要求したが幕府はこれを拒絶した。
- B 択捉島の探査のため近藤重蔵らが派遣され、択捉島に「大日本恵登(土)呂府」の標柱が立てられた。
- C ロシア使節ラクスマンが根室に来航し、漂流民を届けるとともに通商を要求したが、幕府は通商の申し出を拒絶した。
- D 仙台藩医工藤平助の著した『赤蝦夷風説考』の意見が採用され、最上徳内らが千島列島調査に初めて派遣された。

問 4 下線部(ウ)(エ)(オ)に示されるそれぞれの事件の際に外国船が入港した(あるいは入港しようとして近づいた)場所として正しいものを、次のA～Fのうちから一つ選べ。(解答番号 12)

- | | | |
|---|----------------------------|--------------|
| A | グローウニン事件：国後島
モリソン号事件：浦賀 | フェートン号事件：長崎 |
| B | グローウニン事件：国後島
モリソン号事件：長崎 | フェートン号事件：浦賀 |
| C | グローウニン事件：長崎
モリソン号事件：浦賀 | フェートン号事件：国後島 |
| D | グローウニン事件：長崎
モリソン号事件：国後島 | フェートン号事件：浦賀 |
| E | グローウニン事件：浦賀
モリソン号事件：長崎 | フェートン号事件：国後島 |
| F | グローウニン事件：浦賀
モリソン号事件：国後島 | フェートン号事件：長崎 |

問 5 下線部(カ)で清国が敗れた原因の一つに西洋砲術の差があることを水野忠邦に進言し、1841年に江戸郊外の徳丸が原で行われた西洋式砲術訓練を指揮した人物として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 13)

- A 大原幽学 B 伊達宗城 C 島津斉彬 D 高島秋帆

問 6 アヘン戦争から下線部(キ)までの間になされた通商要求や開国要求を年代順に並べたものとして正しいものを、次のA～Fのうちから一つ選べ。(解答番号 14)

- A アメリカ東インド艦隊司令長官ビッドルによる通商要求→オランダ国王の開国勧告→ロシア使節プチャーチンによる開国要求
- B アメリカ東インド艦隊司令長官ビッドルによる通商要求→ロシア使節プチャーチンによる開国要求→オランダ国王の開国勧告
- C オランダ国王の開国勧告→アメリカ東インド艦隊司令長官ビッドルによる通商要求→ロシア使節プチャーチンによる開国要求
- D オランダ国王の開国勧告→ロシア使節プチャーチンによる開国要求→アメリカ東インド艦隊司令長官ビッドルによる通商要求
- E ロシア使節プチャーチンによる開国要求→アメリカ東インド艦隊司令長官ビッドルによる通商要求→オランダ国王の開国勧告
- F ロシア使節プチャーチンによる開国要求→オランダ国王の開国勧告→アメリカ東インド艦隊司令長官ビッドルによる通商要求

問 7 下線部(ク)について、下田で締結された日露和親条約で開港されることになった港の組み合わせとして正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 15)

- A 下田 新潟 箱館
- B 長崎 下田 箱館
- C 兵庫 下田 新潟
- D 長崎 兵庫 下田

問 8 下線部(ケ)に関連して、ペリー来航以前、彦根藩、会津藩、忍藩などとともに江戸湾の警備にあっていた藩として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 16)

- A 水戸藩
- B 肥前藩
- C 川越藩
- D 庄内藩

問 9 江戸時代全般の出版事情について述べた文章として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 17)

- A 寛政の改革では、山東京伝の人情本『仕懸文庫』が発禁処分とされた。
- B 黄表紙とは、風刺滑稽を主題とした絵入りの物語である。
- C 寛政異学の禁では漢訳洋書の輸入が制限され、蘭学書が統制された。
- D 天保の改革では、為永春水の合巻『修紫田舎源氏』が発禁処分とされた。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問に答えよ。

明治政府は、殖産興業政策に注力するなかで先進諸国から招いた御雇い外国人^(ア)と呼ばれる外国人教師・技術者の指導のもと、政府による経営、いわゆる官営事業によって近代産業の育成を図った。

運輸部門では1872年の新橋－横浜間、1877年までに京都－間の鉄道が官営鉄道として開業し、大都市と開港地を結ぶ交通機関が整備された。通信部門では1871年にの建議による官営の郵便制度が開始され、まもなく全国均一料金制となった。

しかし、官営事業中心の殖産興業政策は財政悪化と貿易赤字を生み出したため、1880年代以降には官営事業^(イ)払下げが積極的に進められた。その一方で、政府は民間の産業育成に取り組むことで貿易赤字の解消を図った。日清戦争以前における民間産業の中心は製糸業と紡績業であった。

製糸業について、すでに1872年の群馬県には官営の富岡製糸場が設けられ、の先進技術を導入した生糸生産が行われていた。輸入機械に学び、在来技術を改良したの技術は民間の小工場にも導入されたことで、次第に原料繭を供給する養蚕家も増加した。日露戦争後には、主に向けを中心とした生糸輸出が増加して、1909年には世界最大の生糸輸出国になった。

紡績業では、1883年に渋沢栄一らによって設立された会社が開業し、輸入機械と蒸気機関を利用したことで成功を収めた。1890年には綿糸の生産量が輸入量を上回り、ついに1897年には輸出量が輸入量を上回るようになった。

これら諸産業の発展にともない運輸業にも民間会社が出現した。鉄道業では1881年に華族らを中心に設立された日本鉄道会社の路線が北関東^(ウ)の製糸業地域と開港地の横浜を結んだ。海運業について、1896年に政府は造船奨励法とともに航海奨励法を公布して外国航路就航を奨励すると、1885年に郵便汽船三菱会社と会社の合併によって設立された日本郵船会社をはじめとする海運会社は豪州航路や欧米航路を開設して、海外貿易の発展に寄与した。

問 1 空欄 1 にあてはまる地名として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 18)

- A 大阪 B 神戸 C 敦賀 D 舞鶴

問 2 空欄 2 にあてはまる人名として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 19)

- A 岩倉具視 B 黒田清隆 C 前島密 D 大隈重信

問 3 空欄 3 および空欄 5 にあてはまる国名の組み合わせとして正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 20)

- | | |
|---------------|-------------|
| A 空欄 3 - フランス | 空欄 5 - アメリカ |
| B 空欄 3 - フランス | 空欄 5 - イタリア |
| C 空欄 3 - イタリア | 空欄 5 - フランス |
| D 空欄 3 - イタリア | 空欄 5 - アメリカ |

問 4 空欄 4 にあてはまる語句として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 21)

- A 力織機 B 座繰製糸 C ガラ紡 D 器械製糸

問 5 空欄 6 にあてはまる語句として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 22)

- A 大日本紡績 B 鐘淵紡績 C 大阪紡績 D 呉羽紡績

問 6 空欄 7 にあてはまる語句として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 23)

- A 共同運輸 B 東洋汽船 C 大阪商船 D 川崎汽船

問 7 下線部(ア)に関連して、憲法調査で渡欧した伊藤博文にドイツ法を教授し、1886年に来日すると明治憲法制定や地方自治制の成立に貢献したドイツの法学者として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 24)

- A ポアソナード
- B ロエスレル
- C モッセ
- D シーボルト

問 8 下線部(イ)に関連して、官営事業とその払下げ先の組み合わせで正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 25)

- A 長崎造船所－川崎
- B 深川セメント製造所－浅野
- C 院内银山－久原
- D 新町紡績所－三菱

問 9 下線部(ウ)に関連して、明治期における鉄道の説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 26)

- A 東海道線(東京－神戸間)が全通した1889年には、営業キロ数で官営鉄道が民営鉄道を上回った。
- B 鉄道敷設法は、全国鉄道網の統一的管理を目指す第一次西園寺内閣によって1906年に公布された。
- C 新橋駅の設計と施工は、東京帝国大学工科大学校学長を務めた辰野金吾によるものであった。
- D 東清鉄道の長春以南の鉄道とその付属利権は、1905年のポーツマス条約でロシアから日本に譲渡された。

〔IV〕 次の文章を読み、設問に答えよ。

一万数千年ほど前、気候の温暖化とともに、日本列島の自然環境も安定し、土器の使用もあいまって人々の食生活もバラエティ豊かなものとなっていった。原始的な農耕は縄文の時代にすでに開始されていた。たとえば、三内丸山遺跡では食用及び建築用資材としての 1 林の痕跡が残っている。水稻栽培技術が伝えられると、灌漑・施肥技術も同時に発達し、登呂遺跡でも施肥のため、青草等を田に踏み込むさいに使用された 2 が出土している。律令制の時代、水田は国家経済の根幹であり、口分田を基礎に戸籍制度や税制が整えられていった。しかし、この仕組みは8世紀後半から9世紀にかけて偽籍や貧富の差の増大^(ア)などから実効性が下がっていった。鎌倉時代になると牛馬耕の普及により生産力^(イ)があがり、畿内、山陽道では二毛作が普及する。また室町時代には、灯火の燃料とする荏胡麻生産などの副業が盛んとなり、商品作物が地域の特性から考案されていくようになる。農業技術は、江戸時代、元禄の好況期を中心に革新があいついだ。商品作物は四木三草^(ウ)を中心に多様化し、各藩の財政を支えた。明治維新後も、明治政府の財政的基盤は農業からの税収であり、農業政策は経済政策の中心となっていた。19世紀末にかけて農民層の分解が急速に進むと、貧農は工業化の過程では、安い労働力の供給源としても機能することとなった。農民は民権運動への参加や小作料引き下げを要求する小作争議^(エ)によって一連の社会的矛盾に対抗したが、地主制度の壁は厚かった。第二次世界大戦後、小農自作農を基盤とする農地改革が展開したが、その後も日本の農業をめぐる諸問題は引き続き大きな政策的な課題となり続けている^(オ)。

問 1 空欄 1 にあてはまる語句として正しいものを、次の A～G のうちから一つ選べ。(解答番号 27)

- | | | | |
|-----|-------|------|-----|
| A 竹 | B 柿 | C 梅 | D 栗 |
| E 松 | F ひのき | G かし | |

問 2 空欄 2 にあてはまる語句として正しいものを、次の A～E のうちから一つ選べ。(解答番号 28)

- A 踏車 B 田船 C 大足
D 竜骨車 E 苗籠

問 3 下線部(ア)について、この状況を打開するため、823 年と 879 年に大宰府管内と畿内において開設した、有力農民を利用した国家による直営田^①の名称に^②ついて、それぞれ正しい組み合わせを、以下の A～E のうちから一つ選べ。

(解答番号 29)

- A ①官田 ②私営田 B ①公田 ②公営田
C ①官田 ②賜田 D ①公営田 ②公田
E ①公営田 ②官田

問 4 下線部(イ)の荏胡麻から絞り出した灯油類を取り扱った大山崎油座の本所として正しいものを、以下の A～E のうちから一つ選べ。(解答番号 30)

- A 祇園社 B 筥崎八幡宮 C 興福寺大乘院
D 北野神社 E 石清水八幡宮

問 5 下線部(イ)にまつわるその後の出来事として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 31)

- A 灯油は、江戸時代にかけて綿実油、そして菜種油へと取って代わられていくが、高価だったため、庶民にとってはより安価な魚油や粗悪な再生蠟燭が多く用いられていた。
- B 明治時代に入ってガス灯等が都市部の街灯として用いられたが、一般的には石油ランプが普及し、その需要を前提に、1888年には日本石油会社が新潟県で設立され、油田開発が本格化した。
- C 東京電灯会社、大阪電灯会社など大手電力会社の送電が1900年代に開始されたため、都市部での電灯の普及もそれ以降になった。
- D 電灯をともし電力供給は戦前期を通じて水力と火力によっており、火力発電は主に石炭を燃料としていたが、1950年代半ばから1960年代にかけて中東の安価な石油が輸入され、次第に石油や天然ガスを主力とするようになった。

問 6 下線部(ウ)の三草の組み合わせとして正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 32)

- A 藍 麻 紅花
- B 麻 たばこ 菜種
- C 藍 たばこ 菜種
- D 菜種 紅花 綿花

問 7 下線部(エ)にまつわる記述として正しいものを、次のA～Eのうちから一つ選べ。(解答番号 33)

- A 小作争議を対象とする文学作品も多く生まれた。そのうちの代表的な作品の一つ、「不在地主」の著者は河上肇である。
- B 1922年、山川均、高野房太郎らによって、全国組織である日本農民組合が結成されると小作争議は高揚し、1920年代半ばには小作争議件数は最多を記録した。
- C 小作争議も題材とするプロレタリア文学運動は『白樺』や『新思潮』などの雑誌を舞台に、社会労働運動の高揚とともに盛んとなった。
- D 世界恐慌後の昭和恐慌期の小作争議は秋田県阿仁前田や長野県五加村をはじめとする地域、とくに東北地方を中心として多発したが、小規模化する特徴を持っていた。
- E 日本農民組合はその後、派閥闘争やイデオロギー対立から分裂・統合を繰り返した。しかし、第二次世界大戦後、1947年には農民組合統一全国大会が開催され、翌年にはこれを母体として全国農業協同組合連合会が結成された。

問 8 下線部(オ)について、1961年には農業基本法が公布されたが、この法律の説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 34)

- A 第二次池田内閣が公布した同法は農産物の自由な輸出入をめざしたもので、結果的には農家の所得を減らしたため、1989年には保護主義的な食料・農業・農村基本法の施行によって廃止された。
- B 1939年の米穀配給統制法に由来し、主要食糧を政府が統制・管理する法律であり、政府は買取食糧を米穀配給通帳に基づき消費者へと配給する仕組みで、これによって生産者米価は引き下げられた。
- C 同法により農業労働力は省力化されたものの、農業の兼業化が促進され、また都市部への人口流出をまねき、結果的に食料自給率低下の一つの要因となった。
- D 農業経営規模の拡大に対して一定の制限を課す同法により、農家の経営規模は地域ごとに平準化された。そのため、農業分野での機械化は進まず、人力頼みの生産が長く続けられた。